

# 羽ばたけ! こどもたち

大堀 寛人

⑩

の触れ合いの中で生まれる  
一体感や野外での経験を積  
ませたい」と、二十五年ほ  
ど前から活動を始めまし  
た。最近では、卒園生以外  
のこどもも受け入れて楽し  
んでいます。

活動は月に二度の土曜  
日。ちゅーりっぷの男性の  
先生が中心となって園バス  
を運転し、こどもたちを郊  
外へと連れ出します。レン  
ゲやタンポポなどを摘んで  
食べる春の野草パーティ  
ー、釣りや登山、潮干狩り、  
夏のキャンプ、冬のスキー  
教室…と盛りだくさんの野  
外活動を企画しています。

時々、中学生や高校生に  
なつた卒園生がふと思いつ  
出したかのように、活動に参  
加することがあります。悩  
みを打ち明けるわけでもな  
く、ただ先生たちとおしゃ  
べりしたり、一緒に遊んだ  
りすることで明日への活力  
を得ているようです。「ど  
んちやか村」は、彼らにと  
って「心のふるさと」にな  
っているのです。

もうひとつの挑戦は、通  
称「婆トンネル」での肝試  
し。おばあさんの幽霊が追  
いかけてくるという、うわ  
さがある三十層ほどのトン  
ネルを、二人一組で通り抜  
け、闇の恐怖に打ち勝ちま  
した。活動では、こどもた  
ちにこんな「ストレス」も  
与えますが、乗り越えるこ  
とで確かな生活力を蓄えて  
いくように思います。

数年前、「どんちやか村」  
のこどもたちと広島市南区  
の似島で夏キャンプをした  
時のこと。メインイベント  
は「安芸の小富士」を登っ  
た後、けもの道を通って下  
山する「やぶごぎ」競争で  
す。グループに分かれ、二  
三時間。ゴールまで道なき

自然と親しみ、その中で  
遊ぶ喜びを手に入れること  
は容易ではありません。多  
様な自然の変化や、アクシ  
デントに臨機応変に対応で  
きる能力を身につけ、どん  
な状況にも立ち向かえる丈  
夫な心が育つてこそ、真に

「ぶれいすくーる・ちゅー  
りっぷ」には、小学生になつ  
た卒園生のための遊びの  
学校「どんちやか村子供  
倶楽部」があります。名前  
は、祭りばやしの太鼓と鐘  
の「ドンドンチャカチャカ」  
をイメージして名づけまし  
た。

## どんちやか村

幼児期以降  
も継続して、  
こどもたちに

「お祭りのよ  
うに人と人と

## 野外体験 丈夫な心の糧

自然を楽しむ  
ことができる  
のです。「ど

道を下へ下へ進みます。こ  
どもたちはアクシデントに  
見舞われても心を奮い立た  
せ、すり傷にも気づかない  
ぐらゐの集中力でやり遂げ  
ていきます。

(ぶれいすくーる・ちゅーり  
っぷ 広島市西区 園長)



「どんちやか村」の夏キャンプ。  
浜辺でのそうめん流しに、卒園生  
も大喜び (園提供)